

昭和初期の中島商店街

昭和の初めころの中島は135軒ほどの店舗があった。店の種類が豊富で、店の数は現在より格段に多かった。駅前近くに、タクシー、料理屋や旅館などがあった。当時は、村の人たちの目を引くように、紅白の服を着て自転車に乗って1日1回村中を宣伝して回ったようである。1931（昭和6）年には中島新町に「睦劇場」が、1948（昭和23）年には上町に「マルス劇場」が作られた。1945（昭和20）年代には中島新町に「中島銭湯」ができ、当時は内風呂が少なかったこともあり、繁盛していた。2008（平成20）年の調査では、10店舗が継続営業していたが、2015（平成27）年での調査ではそのうち3店舗が廃業していた。

町名	店舗名	職種	
上町	杉本（廃業）	写真館	—
	つるや	呉服店	創業は1932（昭和7）年頃
	早川	理髪店	創業は大正時代、現在4代目。
新町	榊原（廃業）	酒店	—
	弥寿来（やすき）	料理店	
	だるま屋（廃業）	薬局	—
境町	こめよし	呉服店	創業は明治時代以前。祖先（八木よしべえ）が関西地区から移住してきた。八木姓は大阪・神戸に多い。
	アブ忠	雑貨店	創業は1929（昭和4）年。創業時は菜種油を農家から買い付けて福岡町の太田油脂に卸していた。アブ忠のアブは油の事で、忠は名前の忠兵衛の頭文字のようである。
	マルス	衣服店	1945（昭和20）年頃創業。太平洋戦争終戦後、新に商売を開始した。
	近江屋	酒店	江戸末期に近江商人として関西から当地に移住した。当時の商売は不明であるが、現在の商売を開業したのは1893（明治26）年7月に酒・肥料販売としてである。



杉本写真館 20150808



つるや呉服店 20150808



早川理髪店 20150808



弥寿来料理店 20150808



だるま薬局 20150808



こめよし呉服店 20150808



アプ忠雑貨店 20150808



マルス呉服店 20150808



近江屋酒店 20150808

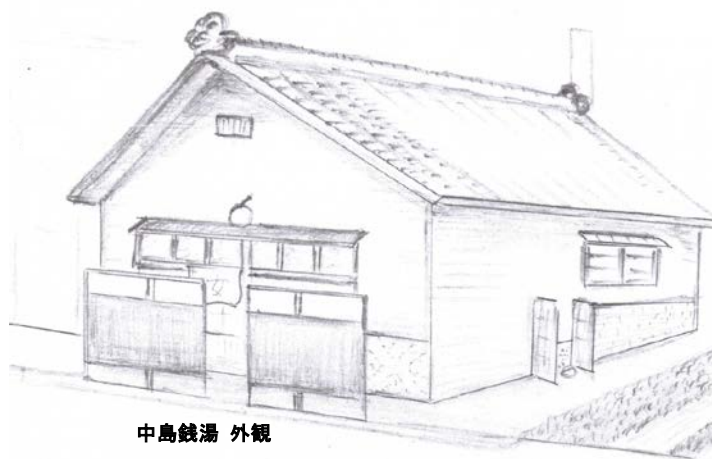
本項は以下の資料を引用している。

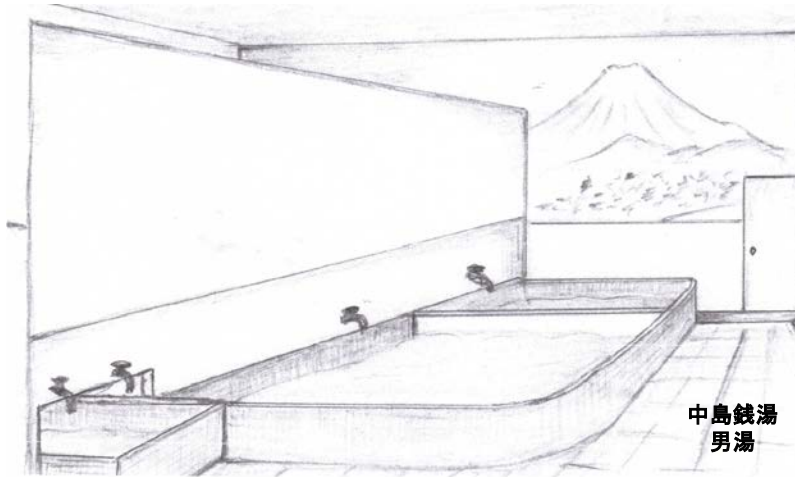
[わたしたちのふるさと 六ツ南 114 選]

監修者 総代会長 平井 良美
社教委員長 近藤 武美
著者 岡崎市立六ツ美南部小学校 6 年児童 114 名
(平成 25 年 3 月 19 日卒業)
編者 岡崎市立六ツ美南部小学校 6 年担任
権田 康成、加納 隆、坂井 純、榊原 美佐子、山本 佳愛
発行日 2013 (平成 25) 年 3 月 1 日 初版発行
印刷所 ブラザー印刷株式会社
製本 ブラザー印刷株式会社
発行 岡崎市立六ツ美南部小学校



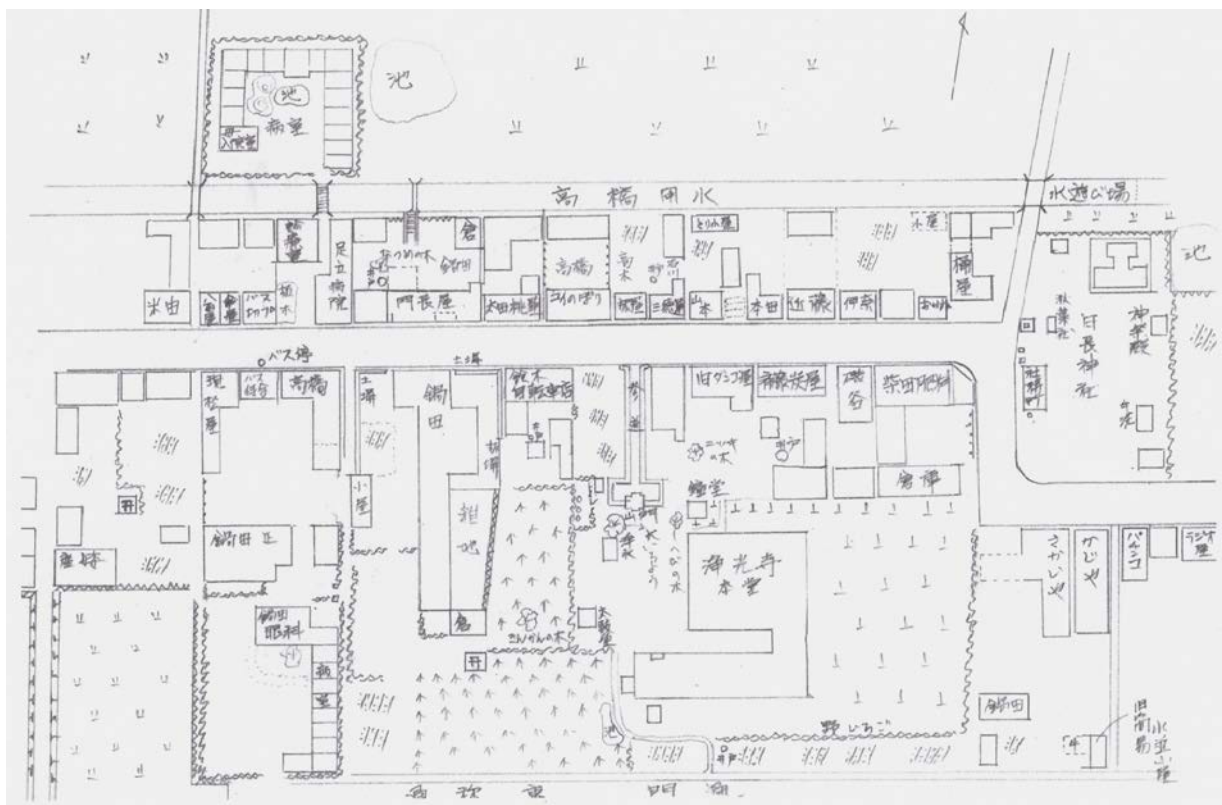
1940 (昭和25) 年頃の中島銭湯 (本町、鈴木氏作成)





中島銭湯
男湯

1940（昭和20）年頃の本町の街並み（本町、鈴木氏作成）を以下に示す。当時は、「ラジオ販売・修理」、「パチンコ店」、「鍛冶屋」、「料理屋（さかいや）」、「桶屋」、「肥料・飼料販売」、「鯉織製造販売」、「炭屋」、「和菓子製造販売（三徳屋、松屋）」、「自転車販売・修理」、「傘屋」、「八百屋」など多くの商店が見受けられる。現在のようなサラリーマンがほとんど存在しない時代であった。病院も足立病院（総合病院）と鍋田医院（眼科）があった。





1928(昭和3)年 倉橋商店の御大典記念 右側は六ッ美第三尋常高等小学校 つるや呉服店提供



昭和前期 商店の大売り出し つるや呉服店提供



昭和前期
商店の大売り出し
つるや呉服店提供



1937(昭和112)年中島の町並み 六ッ美第三尋常高等小学校付近
手前左側は倉橋虎三郎氏宅 倉橋豊氏提供



1950(昭和25)年中島の葬式の様子 村立六ッ美南部
小学校付近 つるや呉服店提供



1961(昭和36)年中島の町並み 六ッ美農協中島支店付近
倉橋豊氏提供



1964 (昭和39) 年中島の町並み つるや呉服店付近
つるや呉服店提供



1965 (昭和40) 年中島の町並み つるや呉服店付近より
北方方面 つるや呉服店提供



1952 (昭和27) 年 村立六ッ美保育園 崇福寺 つるや呉服店提供



1925(昭和10)年木炭バス つるや呉服店提供